単 元 名	Unit 6　　南半球からのメール	配当時間	５～７時間
単元の目標	(1) 第三者について，紹介したり，問答したりしようとする。 (2) 三人称における一般動詞を用いて身近なことを表現することができる。 (3) ｏマークの姉についての紹介や，デミとの対話の内容を理解することができる。 ｏ簡単な自己紹介のスピーチを聞いて，要点を理解することができる。 (4) ｏ三人称における一般動詞の用法を理解する。 ｏ俳句の内容を通して，日本とオーストラリアの季節の違いを理解することができる。		

☆本単元では，三人称単数現在形の用法を理解させ，第三者について，紹介したり，問答したりできるようにさせたい。また，俳句の内容等からオーストラリアの季節や日本語を学ぶ人の多さなどを理解させたい。

①★**Part 1** マークの姉についての紹介の内容を知る。また，三人称における一般動詞の平叙文の用法を知り，練習する。 第三者について言ったり，問答したりしよう。 ②★**Part 2** ベッキーの俳句からオーストラリアの季節を，またメールについての２人の会話の内容を知る。三人称における一般動詞の疑問文の用法を知り，練習する。 ③★**Part 3** ベッキーのメールについての会話の内容を知る。また，三人称における一般動詞の否定文の用法を知り，練習する。 評三人称における一般動詞を用いて身近なことを表現することができる。（発表，観察） ④★**まとめ1**　人について話す練習を通して，主語と動詞の関係についてまとめる。 ⑤★**LP2** 日本に住む外国人の自己紹介のスピーチを聞き取る。また，聞き取ったことを基に，簡単に人を紹介する。 ⑥　**単元のまとめ(1)** 三人称における一般動詞を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑦　**単元のまとめ(2)**　学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・ＪＴＥとの対話による本文の導入 ・写真または絵を用いた，第三者の紹介 ②・Does he(she) ～?を用いた，第三者についてのＪＴＥとの問答 ・生徒の三人称における一般動詞を用いた問答の相手 ・母国と日本の季節の違いについてのスピーチ ③・ロールプレイにおける生徒の相手 ・母国における日本語の学習についてのスピーチ ④・学習した一般動詞を使ったＪＴＥとの対話 ⑤・LS2と類似した問題の作成・提示 ・生徒の発表のチェックとアドバイス ⑥・ＪＴＥとのレポート活動のモデル（まずインタビューして，わかったことを第三者に報告する）

ｏ三単現のｓを強調するあまり不自然な発音・アクセントにならないように注意する。実際には聞き取れないことも多く，話すときに落としてしまっても意味は通じるということも知らせておく。
ｏ①の三人称における一般動詞は，日本語にはない概念なので，一度の説明・練習で定着させることは難しい。何度も繰り返し復習する中で意識されるようになればよい。
ｏ③④⑥で三人称における一般動詞の練習として有効な活動はレポート活動である。まずペアで学習した一般動詞を使って相手のことを聞き，その後でペアを変えて，または全体にわかったことを報告する。一人称・二人称での対話活動から，三人称のレポート活動へのつながりで自然に三単現のｓを使う場面ができる。できれば，この後行われるコミュニケーション活動にも時間があれば随時取り入れて復習させたい。
ｏ⑦三単現のｓにこだわりすぎて，文や文章の意味が置き去りにされないように指導する。

東京書籍　　http://www.tokyo-shoseki.co.jp/
オーストラリア大使館　　http://www.australia.or.jp/